

会 議 録

学 校 名	新座市立大和田小学校			
会 議 の 名 称	令和4年度 第3回 学校運営協議会			
開 催 日 時	令和5年1月17日（火） 午前・午後 2時00分から 午前・午後 3時55分まで			
開 催 場 所	新座市立大和田小学校 相談室			
出 席 委 員	岩岬 正浩	○	新井 和久	○
	山田 幸雄	○	森田 行男	○
	吉田 まさよ	○	西岡 真弓	○
	内野 朋子	○	根岸 幸奈	○
	坂口 智	○		
	<p>1 開会のことば</p> <p>2 校長あいさつ</p> <p>3 授業参観</p> <p>4 学校関係者評価に関する説明・質疑応答</p> <p>○仕事の均等化を図ることができているのか。自己評価ではA評価に対してC評価が多い要因は何か。</p> <p>→各学年に主任と副主任がおり、主任に負担が偏らないように連携を図りながら進めるようにしている。一番の要因は「温かさが足りない」ことではないかと考える。負担の大きい職員への感謝の気持ちや声掛けが少ない。</p> <p>→分掌主任は2年で動かし、固定していない。負担が大きい分掌に長く関わることを避け、様々な分掌主任を経験することで均等化を図っている。</p> <p>○組織改善委員会の構成および開催回数は、どのようになっているか。</p> <p>→主幹教諭、各学年1名、特別支援学級1名、担任外教員1名の計9名である。開催は、月1回である。</p> <p>○資質・能力の三つの柱とは何か。</p> <p>→「知識技及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」である。</p> <p>○society5.0とは何か。</p> <p>→今までは情報選択において、人がインターネットにアクセスして必要な情報を入手していた。しかしsociety5.0では、ビッグデータをAIが解析し、選択する。</p>			

	<p>○新体力テストの結果は、県と比較してどのような結果が出ているか。 →全体的に昨年度と比較して、数値が上がっていた。特に「投力」は、体力向上担当が教員を対象とした講習会を実施し、結果の伸びに出ていた。</p> <p>5 協議</p> <p>6 学校運営協議会のまとめの作成 前向きに取り組んでいるものについては、A評価にしてもよいものがある。後日、委員長を中心にとりまとめたものを委員で確認し、仕上げとする。</p> <p>7 謝辞</p> <p>8 閉会のことば</p>
会議資料	<p>資料 次第</p> <p>資料 令和4年度新座市学校評価システム学校関係者評価シート</p> <p>資料 令和3年度新座市学校評価システム自己評価書【本評価】</p> <p>資料 令和4年度新座市学校評価システム自己評価書【本評価】</p>
公開・非公開の別	<p>① 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者 0人)</p>
その他の事項	なし

文責（ 教頭 真田 朋美 ）